

# 乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.87

2021.8

## HBOC患者さんに対するリスク低減卵巣摘出術について ～当院でも実施可能になりました～



### HBOCとは何ですか？

遺伝性乳がん卵巣がん症候群の事で、BRCA1あるいはBRCA2遺伝子の生殖細胞系列の病的バリエーション(変異)に起因する遺伝性腫瘍症候群の一つです。

### どのような検査でわかるのですか？

血液検査でBRCA1あるいはBRCA2遺伝子に変異があるかどうかを調べることで診断できます。血液検査は一定の基準を満たせば、保険適応になっています。



### HBOCと診断されたらどのような治療の選択がありますか？

乳房や卵巣に対して、特別な検診や予防が重要となります。BRCA1/2遺伝子に変異があれば、乳がんや卵巣がん・卵管がん・腹膜がん(以下、卵巣がんと総称します)の生涯発症リスクが高率であり、BRCA1遺伝子変異を保持する女性の卵巣がん発症リスクは39～46%、BRCA2遺伝子変異を保持する女性では12～27%であると報告されています。

卵巣に対する予防的手術として、リスク低減手術(卵巣がんのリスクを下げるために、がんを発症する前に両方の卵巣および卵管を摘出する手術)が、出産を終えた後、35～40歳に達した時点、または家系で最も早い卵巣がん診断年齢で施行することが推奨されています。BRCA2遺伝子変異保持者の女性では、卵巣がんの発症年齢がBRCA1遺伝子変異保持者より平均で8～10年高いため、手術を40～45歳まで延期することも考慮されます。

手術をすることで、卵巣がんを減少させるだけではなく、全死亡リスクも減少することが報告されています。手術を選択しない場合は、婦人科の医師と相談し、定期的な経膈超音波検査、腫瘍マーカー検査(血液検査)を30～35歳から考慮します。

当院の婦人科でもHBOC患者さんに対してリスク低減卵管卵巣摘出術を施行できるようになりました。希望される患者さんは、担当医にご相談ください。

乳腺外科 泉井 綾香

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

